

## 基準面積表（分署・出張所）

（参考・全国消防長会、消防庁舎の基準）

室名	算定基礎	摘要
事務室	分署（所）長 ・ 10㎡ 補佐 ・ 6㎡×職員数 係長等 ・ 4㎡×職員数	・分署長・出張所長の執務、応接スペース ・毎日勤者全員及び隔日勤務者の執務に必要なスペース
●講堂	120㎡ （内20㎡は収納庫含む）	・職員会議、訓練、研修及び防火管理者講習会等の開催可能なスペース（1回あたり100人想定）
会議室	30㎡	・20人程度で行う会議スペース
●防火相談室	15㎡	・防火相談応接スペース
事務機械室	15㎡	・印刷機、コピー機その他事務用機器設置スペース
受付・通信室	10㎡	・通信員1人分のスペース ・通信機器一式設置 ・車庫等を監視できる位置とする
待機室 （食堂・簡易厨房含む）	1.5㎡×当務人数+8㎡ （簡易厨房）	・当務員の食事ができるスペース ・厨房と食堂は別区画とする ・食器棚、炊事用具、冷蔵庫、テレビ等一式を設置
●談話休憩・喫煙室	20㎡	・職員の休憩室として畳敷きとする ・非常災害時における日勤者の仮眠スペースを兼ねる （2室にし、1室は喫煙専用室とする）
仮眠室	6.5㎡×当務人数	・ベット式（1段）とし、消防隊と救急隊とは別室とする
ロッカー室（男女）	0.5㎡×職員数	・女子職員は別室とする
浴室、	6㎡	・浴槽1～2人用、
洗面、洗濯室	15㎡	・洗面器、洗濯乾燥機一式、洗面道具保ケース
便所	40㎡ （各階、男女1室ずつ）	・男子用 大便器2、小便器2、洗面台2 ・女子用 大便器2、洗面台2 ・障害者用 大便器1、小便器1、洗面台1
車庫	高さ4m以上 巾3m以上、 奥行10m以上  事故防止のため、車両の周囲は1m以上の保有距離をとる	・タンク車 ・45㎡      救急車 ・37㎡ ・指令車 ・25㎡      広報連絡車 ・20㎡
防火衣収納室	0.5㎡×職員数	・職員全員の防火衣が収納できるスペース
●救急消毒室	30㎡	・ガス滅菌器、薬品収納庫、温水シャワー、流し台等を設置
●体力錬成室	30㎡	・体力錬成用各種機器設置スペース
ホース等収納庫	30㎡	・ホース、資機材等収納スペース
ホール（玄関）	15㎡	・防火防災用物品展示コーナー用スペース
●自家発電機室	15㎡	・非常用発電機設備の設置スペース
廊下、階段等共用部	全体面積に15～20%増	・建築便覧引用（草津市・建築指導課提供）
合計		

●は、現状整備できていない室（約230㎡）を示す。

計画面積表（分署・出張所）

（参考・全国消防長会、消防庁舎の基準）

室名	算定基礎	計画面積	備考
	分署(所)長 1人	10㎡	職員規模(3部制)30人 分署(所)長 1 補佐(当直責任) 3 係 管理担当(分・日) 1 予防担当(分・日) 1 消防担当 15 救急担当 9
事務室	補佐 3人 係長等 26人	128㎡	
講堂	120㎡ (内20㎡は収納庫含む)	120㎡	
会議室	30㎡	30㎡	
防火相談室	15㎡	15㎡	
事務機械室	15㎡	15㎡	
受付・通信室	10㎡	10㎡	
待機室 (食堂・簡易厨房含む)	12人	26㎡	
談話・喫煙室	20㎡	20㎡	
仮眠室	11人	72㎡	
ロッカー室	29人	15㎡	
浴室、	6㎡	6㎡	
洗面、洗濯室		15㎡	
便所	40㎡	40㎡	男子・女子・身体障害者用
車庫	4台	127㎡	配置計画車両 タンク車1、救急車1、 指令車1、広報連絡車1、
防火衣収納室	0.5㎡×30	15㎡	
救急消毒室	30㎡	30㎡	
体力錬成室	30㎡	30㎡	
ホース等収納庫	30㎡	30㎡	
ホール(玄関)	15㎡	15㎡	
小計		799㎡	
廊下、階段等共用部	全体面積に20%増	160㎡	
合計		959㎡	